

若者がつながり、

活躍できる拠点に向けて



大牟田市 × 大牟田商工会議所 × (株)ベストアメニティホールディングス

「若者が夢をもって働くまちづくり」に向けて、イノベーション創出事業の取り組みを進めている大牟田市に令和4年9月、貸しオフィスやコワーキングスペース、イベントスペース等を備えたイノベーション創出拠点がオープンします。市の中心に位置する旧商工会館を再生した、まちが進めるイノベーション創出事業の核となる施設です。このたび、モデレーターに福岡地域戦略推進協議会(FDC)石丸事務局長を招いての3者会談を開催。関市長、大牟田商工会議所・板床会頭、拠点の整備と運営を担う株式会社ベストアメニティホールディングス・内田代表が、大牟田の現在、そして未来を見据え、イノベーション創出事業の展望や拠点について語り合いました。

―大牟田の現状、そして課題

石丸：イノベーション創出事業（以下、イノベ創出事業）を本格的にスタートしようというタイミングで、大牟田の現状、課題などについて伺います。

関：大牟田市は、現在でも化学産業をはじめ、地域企業の設備投資が活発です。一方で、市の発展のためにAIやITなど、先進的な産業を根付かせていく必要があると考えています。そうした中で、ベストアメニティさんがイノベ創出事業に協力いただくことは非常にありがたいと思っています。

板床：昭和11年に建造された旧商工会館は、大牟田の経済界の歴史が詰まっています。この建物が、新たな大牟田のシンボルとして生まれ変わるということは、経済界としてもとても喜ばしいです。中心市街地の活性化につながることを期待しています。

内田：ベストアメニティ創業の地は大牟田で、非常に思い入れがあります。イノベ創出事業を機に、旧商工会館を活用することができ、私自身ワクワク



内田 弘代表

1990年、本市でベストアメニティ(株)設立。雑穀米を中心とした卸売業をはじめ、レストラン事業、旅館事業、マリン事業など幅広く展開。



板床 定男会頭

「祐徳近海汽船(株)」取締役会長や「壽海運(株)」代表取締役社長などを歴任。2004年11月に大牟田商工会議所会頭に就任し、現在6期目。

しています。歴史ある旧商工会館をイノベ創出事業の拠点として生まれ変わらせ、この場を中心にまちが発展していくよう、皆さんにアドバイスを頂きながら最高のものを創っていききたいと思います。

―未来に向けたビジネスの創出

石丸：イノベ創出事業のポイントは。

関：拠点に人が集まり交流しながら、新しい技術やビジネスを創る仕組みづくりが大切だと思います。産学官金の皆様が構成する組織を立ち上げ、オールおおむたで、未来を見据えたビジネスが生まれる、そんなワクワクする場所にしていきたいです。

石丸：世界を見ているにも産業を次のステージに進めるために、業界、世代にとらわれず多様な人々が一堂に会して、実証実験等、新たなビジネスのための仕掛けを創る傾向があると思います。まさにそうした場が生まれるということですね。

関：そうですね、さまざまな社会課題を新しい技術やシステムなどを

使って解決できる場所にできればと、現在、拠点への入居に向け、一丁関連企業を中心に誘致活動を進めているところですが、ぜひ、多くのプレーヤーが活躍できるような場所にしていきたいですね。

新しい価値を創出する場所へ

石丸：拠点について具体的にどのような展開を考えていますか？

内田：新たなビジネスが生まれるような活気にあふれ、それに向かって努力する人が報われるような場所にしたいです。例えば「遊び」の提案もできればと考えています。私はサガン鳥栖のオーナーもやっていますが、スポーツも大事な要素だと思っています。チームのグッズを置いたり、選手を招いたサッカー教室なんかができたりすると面白いですね。ほかにも農業やいろいろな分野に挑戦する人を応援するような場所にしたと思っています。

石丸：すごく面白い話です。いろいろな自己実現のきっかけとなる場所



石丸 修平事務局長

経済産業省などを経て、2015年4月より福岡地域戦略推進協議会（FDC）事務局長。中央省庁や地方自治体の委員など公職も多数務める。



関 好孝市長

1982年、福岡県庁へ入庁。商工政策課長、環境部長などを経て2019年退職。同年12月に大牟田市長に就任。

もあるし、ここに来ればあの人会えるということ、ある意味まちとして可視化する、そういったことが見える場所ができるのは重要だと思います。

内田：そうですね。若い人をはじめ、たくさんの方のアイデアがどんどん湧き、実現できるような場所にしていくことができれば、面白い視点から大牟田を発展させられると思います。

関：計画では拠点の中にカフェがあったり、随分雰囲気が変わるのではないのでしょうか。また、大牟田はJRや西鉄電車があり福岡や熊本都市圏がとて近いです。そうした方々の交流もできますし、つながりが生まれれば活気が生まれ、そこから大牟田発、世界企業を作っていくこともできるのではと思っています。

板床：大牟田は三井の発祥の地でもあり、歴史的な場所です。新たな取り組みで注目されるのとても嬉しいことですし、内田代表はいろいろなアイデアを持って思い切っちゃっ

てみようという考えをお持ちですから、一緒に取り組んでいきたいと考えています。

大牟田の未来に向けて

関：大牟田のイメージを変えていかないといいけません。イノベーションの取り組みを多くの人に知っていただき、「大牟田って元気になってきているよね」、そんなことを言ってもらえるような未来を創っていききたいと思っています。

板床：大牟田の企業は本当にいい企業ばかりで、元気があります。皆さんと一体となつて盛り上げていきたいですね。

内田：まちの中心地に新たな拠点が出来て、人が集まってくる流れが出てくるのではないかと思いますし、ここに来ればいろいろな人がアドバイスしてくれる、そんな拠点にしていきたいです。新しい大牟田を創っていく一員として私も一緒に頑張りたいです。

石丸：お話の中でたびたび「遊び」という言葉が出てきましたが、人の幸せは働くことだけではなくて、生活環境や、さまざまなアクティビティにも左右されるものだと思います。SDGsのように、持続可能な幸せな環境をどうやって作るのか、今回のイノベーション事業もひとつのきっかけになると思います。今後の展開にとっても期待を抱いていますし、FDCとしても連携していきたいですね。

旧商工会館

1936（昭和11）年に竣工し、長きにわたり大牟田市の経済活動の拠点となっていました。



旧商工会館が生まれ変わり、新たなまちの拠点へ



- ・貸オフィス
IT関連企業やベンチャー企業等の入居スペース
- ・イベントスペース
若者世代をはじめ多様な人や企業が出会い、交流できる場
- ・コワーキングスペース
個人や法人、さまざまな業種が利用できる共用のワークスペース